

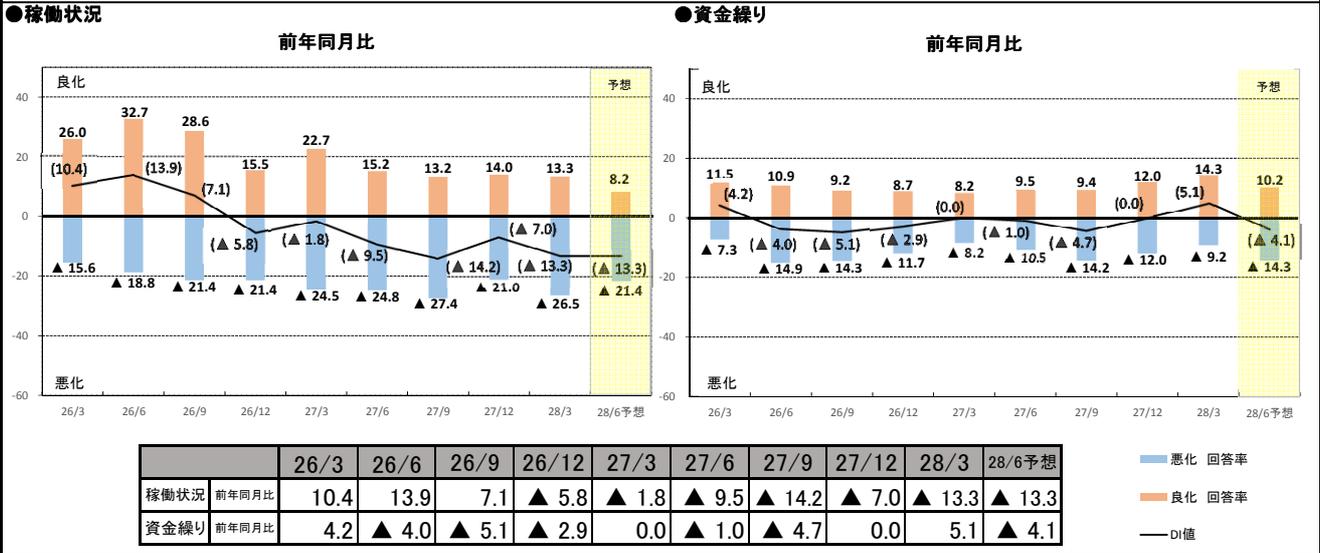
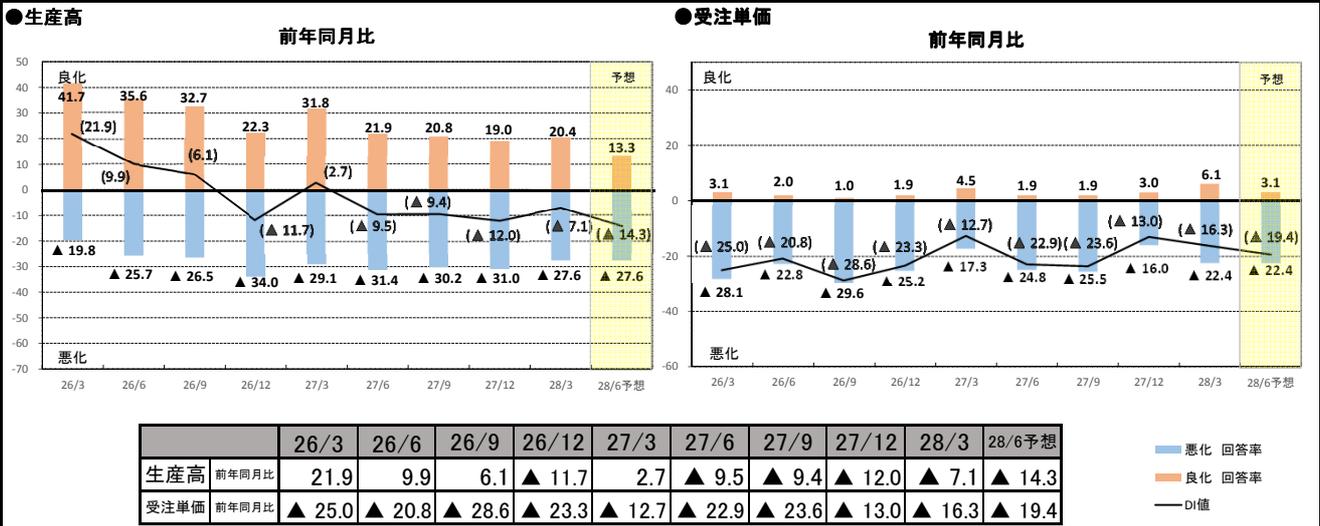
受注企業動向調査結果

-2016.4-

- 調査時点 平成28年3月調査(平成28年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 98社(回答率:65.33%)

プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	7社
金属製品	20社
一般機械器具	21社
電気機器	17社
輸送用機器	8社
精密機器	10社
縫製	6社
計	98社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



- 概要(総合)
- ・生産高(前年同月比)DIは(▲7.1)で前回の(▲12.0)から4.9ポイント増で良化となった。
 - ・受注単価(前年同月比)DIは(▲16.3)で前回の(▲13.0)から3.3ポイント減の悪化となった。
 - ・稼働状況(前年同月比)DIは(▲13.3)で前回の(▲7.0)から6.3ポイント減の悪化となった。
 - ・資金繰り(前年同月比)DIは(5.1)で前回の(0.0)から5.1ポイント増で良化となった。
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲14.3)で7.2ポイント減の悪化、受注単価は(▲19.4)で3.1ポイント減の悪化、稼働状況が(▲13.3)で増減なしの横ばい、資金繰りは(▲4.1)で9.2ポイント減で悪化という予想になった。
 - ・生産高で一時的な回復は見られるものの、受注減などの声が多く、先行き不透明感は強まる一方である。また、人材不足、人材縮小が依然として問題となっており、今後の経営状況にも影響が出てくると考えられる。